

J-1570

142
3397

坤輿圖說序
 天之文者可坐而致也。故覆載之間。雖
 孤島邊陲。苟求陰陽寒暑燥濕晦明之
 故。見其往而知其來。雖不中不遠矣。若
 夫地之理則不然。苟非躬履其土。雖以
 聖人之智。不能辨悉之。故自漢人之談
 博。誇張。至宋儒之窮理不置。其學終不
 及海外之地理者。蓋以不可坐而致也。
 近世泰西之所舶載。坤輿諸圖。皆躬履

坤輿圖說序

陽德寺藏書

2003-1318

其土親檢所作極見精詳獨奈稠密狹
小且蠻字蟹行自非通其學者茫乎難
於辨之吾恨其難與衆共焉伊勢稻垣
生嘗從余學天文覃思研精其學大進
餘力及地理頃獲地球全圖蓋為明人
精通西洋學者所作也生珍翫之至就
其譯文重譯以國字別作圖說一卷余
視之泰西諸圖地之方位國之沿革不
能無大同小異雖然至乎人人一覩而

辨者則莫以加焉嗚呼天文之可坐而
致不求則罔地理之不可冥搜求之則
得生於天文既有所得其於地理亦復
如此可謂勤矣且夫日之於晝夜月之
於盈缺南北之於寒暖潮汐之於晦明
地理天文固不可相離矣然而天則虛
形數丈之高不可得升地則實境萬里
之遠無不可到是所以有坤輿圖說也
其宜梓以與衆共焉為叙其由弁之卷

端

享和元年辛酉仲冬

橘春暉撰



古有言。女為悅己容。南谿橘君。一時為
稻生為之序。不自書。而倩余寫之。其意
蓋似謂余書不惡。余於書法也。固為無
鹽。然而為悅己。粉飾刻画。以應其需。云
爾。

藤元穠書



坤輿全圖說凡例

一嘗得一圖。在市。得たり然。舊物。蠹殘。悉く全
を不得。後幸。一本を得。を以て考訂。略其正を得。
所。わは。こ。因て。遂に。持て。此。ほ。家藏。後乃
君子。其非。を正。さ。余。願ひ。最給。ん。
一原圖。大。て。常。見。煩。勞。なり。因て。余。これ。を。小
圖。と。す。但。其。各。國。乃。界。或。ハ。嶋。峽。地。勢。の。如。き。獅。
億。見。を。加。原。本。少。違。事。な。
一各。所。土。産。等。乃。文。章。原。圖。ハ。圖。中。國。名。乃。傍。記。す。
此。圖。ハ。挾。小。て。悉。く。記。す。事。能。故。圖。說。を。附。
て。其。國。名。乃。次。記。す。猶。方。所。疑。ハ。圖。に。因。て。
合。せ。見。は。し。

一土産等乃文章圖中其所ヒ記レモ乃ハ圖中猶餘乃所アリ故ナリ
 一墨瓦蠟泥係拂良幾國人性名前六十年始過之ヒ
 一如キ年限ハ明末より其
 其他年限乃所皆此よナリ
 一原圖彩色を施スル今見易うたため彩色をなク強
 て六大州を分つ乃とも
 一國名片假名を附ると乃各國の字韵甚た多し然
 然とモ世人多く唱へ來るを要し一挙く疑しきハ
 闕て盡す後乃君子をま

坤輿全圖說



北極幅

自三百六十

至三十

タメイ

○仙多默島

○道馬

○墨力刻登

○色匿客

○卧卧

○訝藥福

○入匿

○息匿瓦國

○刻刺可

自一十

至九十

以下做之

ヒ子

○必寧

○セカ日突

○得米漢

○得馭

○墨利國

○彼多寧

○綠峰島

○感白蠟

○息匿瓦河

○曷我突

シ子ガ

ガイ子ヤ

カヨウ

コウゴ

カメアン

メリキナン

則千喝布

カンベラ

シ子ガ河

- 瓦蟻大 ガラタ
- 巴瓦譚 ハゴレ
- 洞布多 トシフト
- 臺定曷
- 垂入新巴
- 葛那 ゼビ
- 側側 ゼビ
- 伯德 ヘイン
- 小利未亞 ソリヒア
- 色則尔没 セ、ルモ
- 大兒瓦國 タルカ
- 曷熟尔
- 奴米德 ヌミテ
- 貌利大泥亞 モリタニア

- 葛那葛
- 勿突伊
- 曷靈特
- 孤白尔 クハル
- 吳巴湖
- 荒野
- 黑江
- 摩色嶺
- 吳沙兒瓦蟻上
- 入蟻河
- 沙尔 サル
- 巴尔巴里亞 バルハリヤ
- 得莫甌
- 佛沙國 フス

○德利非 テリヒ
 ○亞無音 アムイン
 ○齊私
 亞察那入此處乃人色青く赤て皆裸体なりたる人其口との
 く掩ふ或ハ布を以て〜或ハ葉を以て此方乃人の禪を以て陰
 陽を掩ふもの如く實に一大異なりたり食事乃時僅に口
 を露すのみ

○訝喜廣野
 ○馬邏可國 マローコ
 亞大蟻山 アトラベルグ
 亞大蟻海 アトランゼエ
 天下此山より高山あり〜四時天をめぐり風雲雨雪あり〜
 若し〜皆半ばより下なり〜これを望むと頂をみず此国の
 人天柱と云ふ又奇事あり此国乃人寐了夢あり〜
 ○熱土利亞 子トリア
 ○突曷薩

○ 曷尔烏間 カルウキン

○ 亞察那卧 アサナコ

○ 黑牙教

○ 鐵島

○ 赫雅

○ 查那瓦 ソナアコ

○ 福島 カナリーラセイランド

此島水泉なし一木大樹ありて葉常ニ落る夏なき日晩い
たれハ雲降つて此樹を以て日出し雲散す土人樹根を以て乃池
をほりて雲降つて水なる人畜皆此水より生ずる也

○ 木島

○ 河摺亞諾滄 ラセヤヌスエテラビタス

木島ハ波尔杜瓦爾を去る夏凡半月許りて到る此地樹木甚
茂りて土地肥り波尔杜瓦爾の人此処に至り是を焚く八年
とあつて始りて樹木つぎつぎと今葡萄酒を種りて酒を造る
きてめで美あり

○ へイルタ

○ マイタ

大西洋 ラセヤニスラクシラニタイリ

政邏巴洲三十余乃国皆前王乃政を用ひ又一種乃教あり凡官
二三品あり其上ハ教化を興す夏を専らし其下ハ俗を
判理し其下ハ兵戎の事を治む土地五穀五金百果を産す酒ハ
葡萄酒を以て造る諸乃細工精巧を極め天文乃事性理乃学通
曉せざる人其風俗あつてすなほ其五倫を重し
君臣康富を以て四時外国と相通し客高天下と偏し

○ 波尔杜瓦爾 ホルトガル

○ 厄辣捺達

○ 加西郎 カステイラ

○ 巴尔德峽 キブラルテル峽

○ 多勒篤

○ 曷利擦

○ 以西把你亞 イスパニヤ

○ 俺大魯西亞 アムダルシヤ

○ 曷刺甕 カラナタ

○ 葛荅龍亞

○ 馬岳里革

○ 米謔里革 ミノリカ

○ 多羅薩

○ 迷施葛亞

○ 那勿蟻 ナハラ

○ 曷計荅尼亞

- 利昂
- 拂郎索 フランス
- 路得樓亞
- 黃魚島 サルジニイ

- 羅尺刺
- 瓦斯工
- 麻尔西里亞 マルセリア

此海の咽喉那とて魚あり長サ一尺をかりて周身皆刺あり
 大よ力ありて若し船後と貼する時ハ順風と走る船と云へし
 も少しと動く事能はれ又海濱の蟬里千樹とて木の生
 す此木火と焚るまなし戦陣乃屯寨とてなる

- 哥尔西克 コレイウ
- 十三郡
- 赫尔勿妻亞
- 拂郎殼泥亞 フランゴテ
- 虎亞亞
- 百尔入革
- 突尔裴諾 スワイセルラント
- 蕪亦微亞
- 隆拔勒地亞 トリリア
- 非里西亞 ヒリリア
- 物斯法畧 ヘルシカ
- 波尔卧尼 ホルゴマ

- 大汎亞 即旁那瑪尔加テイヌマルカ
- 喝蘭地 ホルラント
- 諳厄利亞 イニギリア

- 玉良氏
- 則蘭地 セイラント
- 肥良的海 フランド海

此地毒蛇毒虫絶つたし他国より携りて此地に到りハ
 毒性を消す

- 思可齊亞 スコツテヤ
- 喜百泥亞 イペリニヤ
- 都力 トリツ
- 羅多里 ロトオリ
- 思祁非泥亞 スキヒニア
- 比葛謎亞 ヒカルシア
- 冰海 エイス海
- 聽尔山 テシル山
- 亞耳巴

- 娑林日
- 依加里亞島 イカリヤ
- 諾尔物入亞 ノアルウエギヤ
- 非馬祁亞 ヒマルキヤ
- 勿匿尔湖
- 加卧亦勿 カゴエウ
- 卧匿狼德 グルウシラント
- 匿翁峯 コノラシテ
- 卧蘭的亞大洲 コラシテア

○仙多默會

○沙得 スクテ

佛多尔河 ホトオルホ

自四十
至六十

○默大入刺 メイタラ

○雷池 ハアハル

○皮亞法尔 ハアハル

○訶德 マス

○亞媽僧 アマカ

○革刺漫的亞 カラマシヤ

○諸寢干地勿

利未亞の地虎豹獅子を多く禽獸の類多し又一種り猫あり其汗極く香し國人石を以て汗をのこひて香を収む歐羅巴の人多く此香を用ゆ

○納峯

○何令

○波耳加 マシタウ

○漫多蟻 マスウラ

○馬習刺 メダラ

○墨大臘 テカラナ

○諦曷辣那

○罔兀

○西カ シイリ

○入曷謎的里 ハカラミナリ

此国々々日々近し故に人々身皆黒く衣裳をきり頭髪をちぢみて短し土地鉄を産せり金銀を産す象牙犀角宝貝乃類多し

○研麻蠟 ヤマノウ

○亞毘心域 アビシニイ

○多拔西

○拔尔捺曷速 ハルナカリ

○齊入德 シセテ

○怒皮亞 ヌヒア

○這阿安

○僂法踞

○泥里德湖

○堵泥素 ヌウ子ス

○地中海 ミレミデラニキム

○帝入勒印翁

波尔諾湖 ニール湖

泥羅河

○巴瓦米

○皮亞法臘 ハアハラ

○辣葛

○熱利 子リ

○皮力土尔 ヒレトル

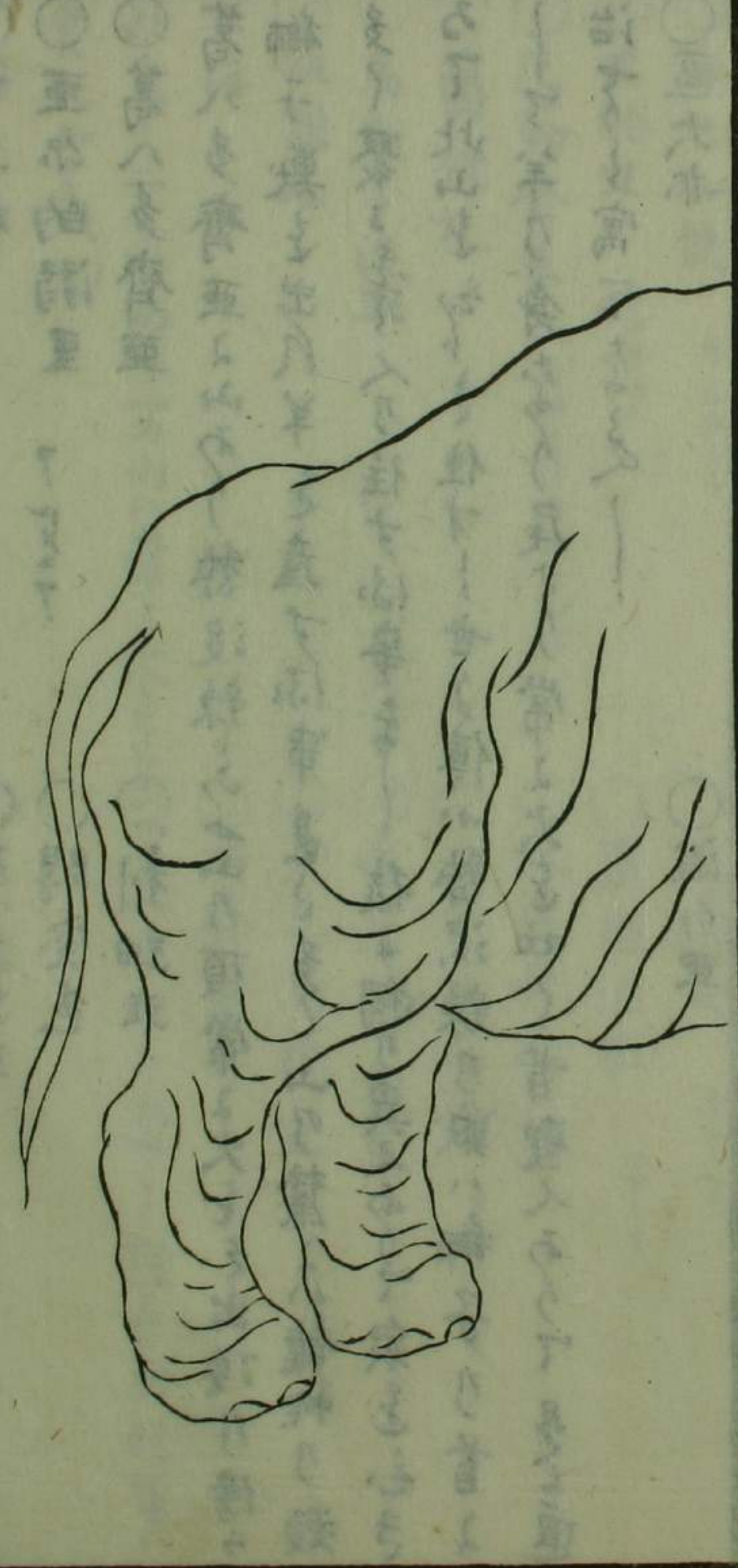
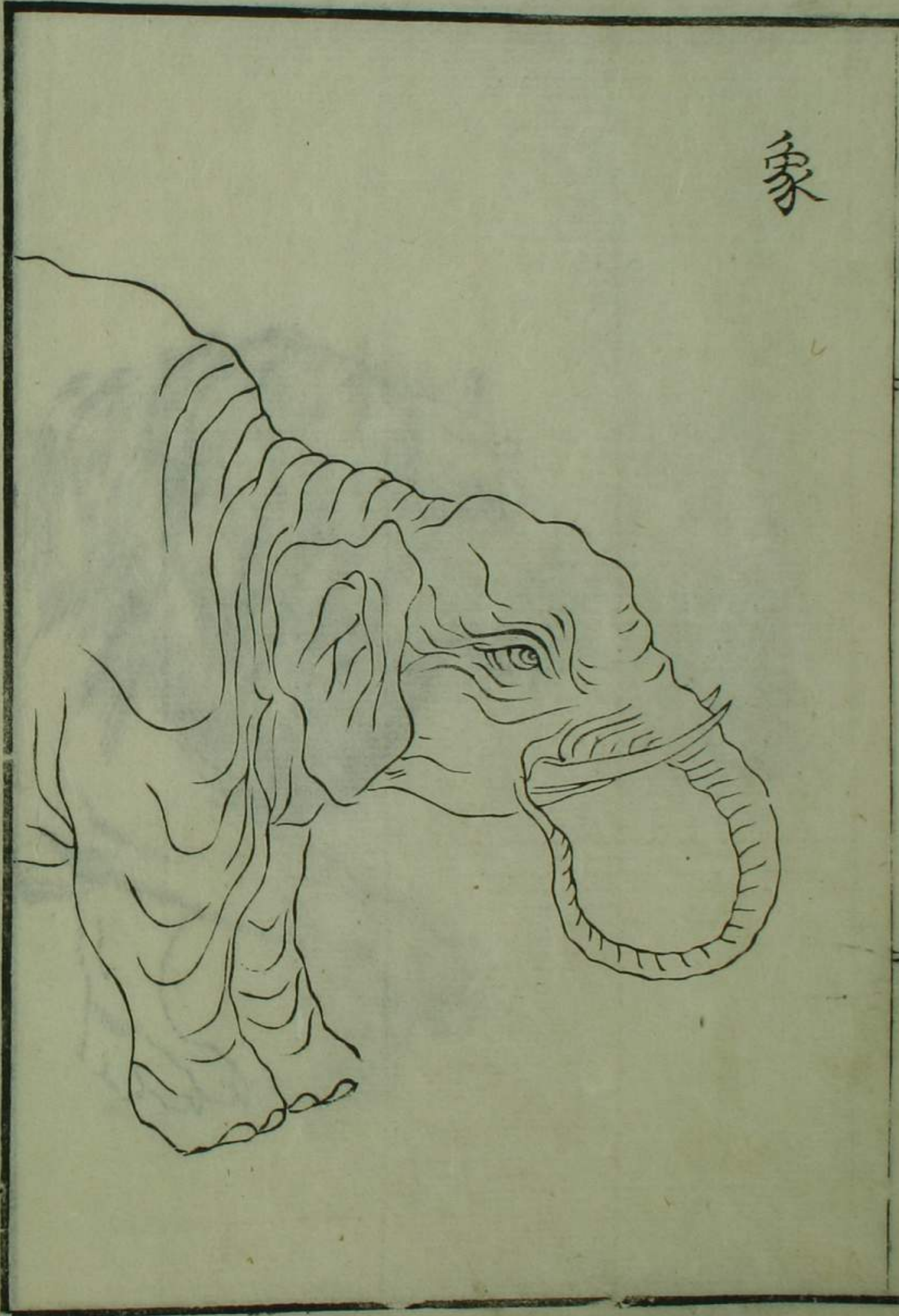
○瑪兒大



獅子



象



○ 象六非
 ○ 出...
 ○ ...
 ○ ...
 ○ ...
 ○ ...
 ○ ...
 ○ ...
 ○ ...
 ○ ...
 ○ ...
 ○ ...
 ○ ...

○馬尔馬利加 マルマリカ

○瓦約瓦 ガヤカ

○噉尾

○都尔熱曆 トル子レ

○巴尔加 バルカ

○亞尔的溺里 アルメア

○葛八多齊亞

葛八多齊亞之山あり愁没辣之山より頂常之火をえ出頂の傍ら獅子獸を出れ羊を産す事多し後獨り異人ありて衆を乞き多く聚ると人乃住すは事なり後獨り異人ありて衆を乞き而て此山を乞き住すと世傳ふ愁没辣乃獸ハ獅子乃首より羊乃身なり尾より常之火を吐く昔聖人ありて是を退治せり寓言なり

○區大亦

○漚白亞

○訝沙登

○小亞非利加 アヒリカヨウラ

○瓦和瓦 ガウカ

○七衣山

○那多里亞 ナトリヤ

○悶突色

○利細亞

○沙尔加龍 サルカレン

○甘的亞 カンテア

○厄勒齊亞 キリケシラシド

○蘭被礼

○馬則多泥亞

○班諾尼

上海

此島之山あり一の山ハ常之火を出一乃山々常之火煙を出は事晝夜やまら

下海

○步尔牙

○意大里亞 イタリヤ

○羅馬 ローマ

○莫勒亞 モテア

○羅馬泥亞 ロマニア

○比産齊何

○亞尔百泥亞 アルハニア

○步尔葛利亞 フルカリヤ

○大尔馬齊亞 タルマシヤ

○西齊里亞 シシリヤ

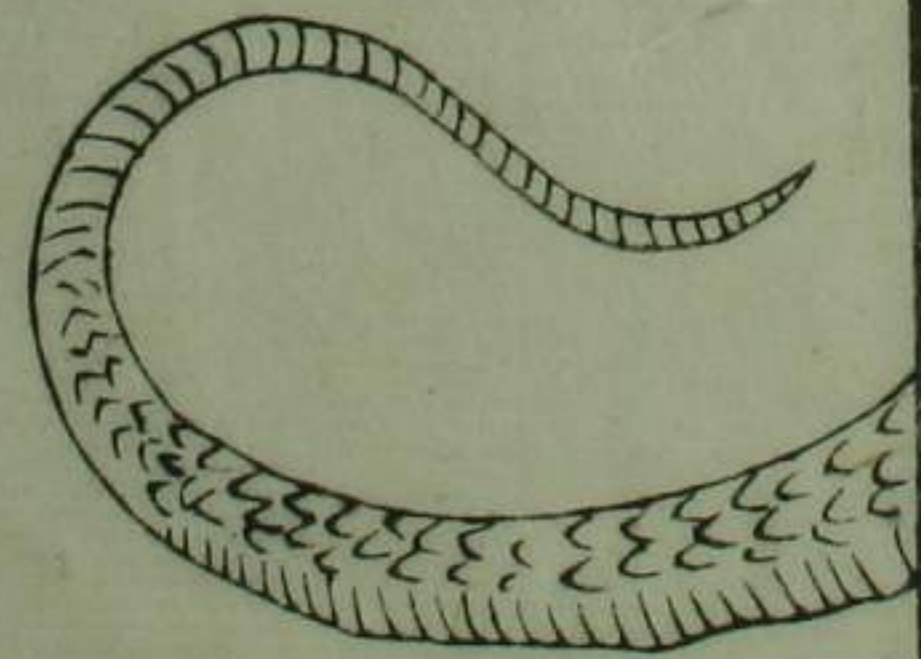
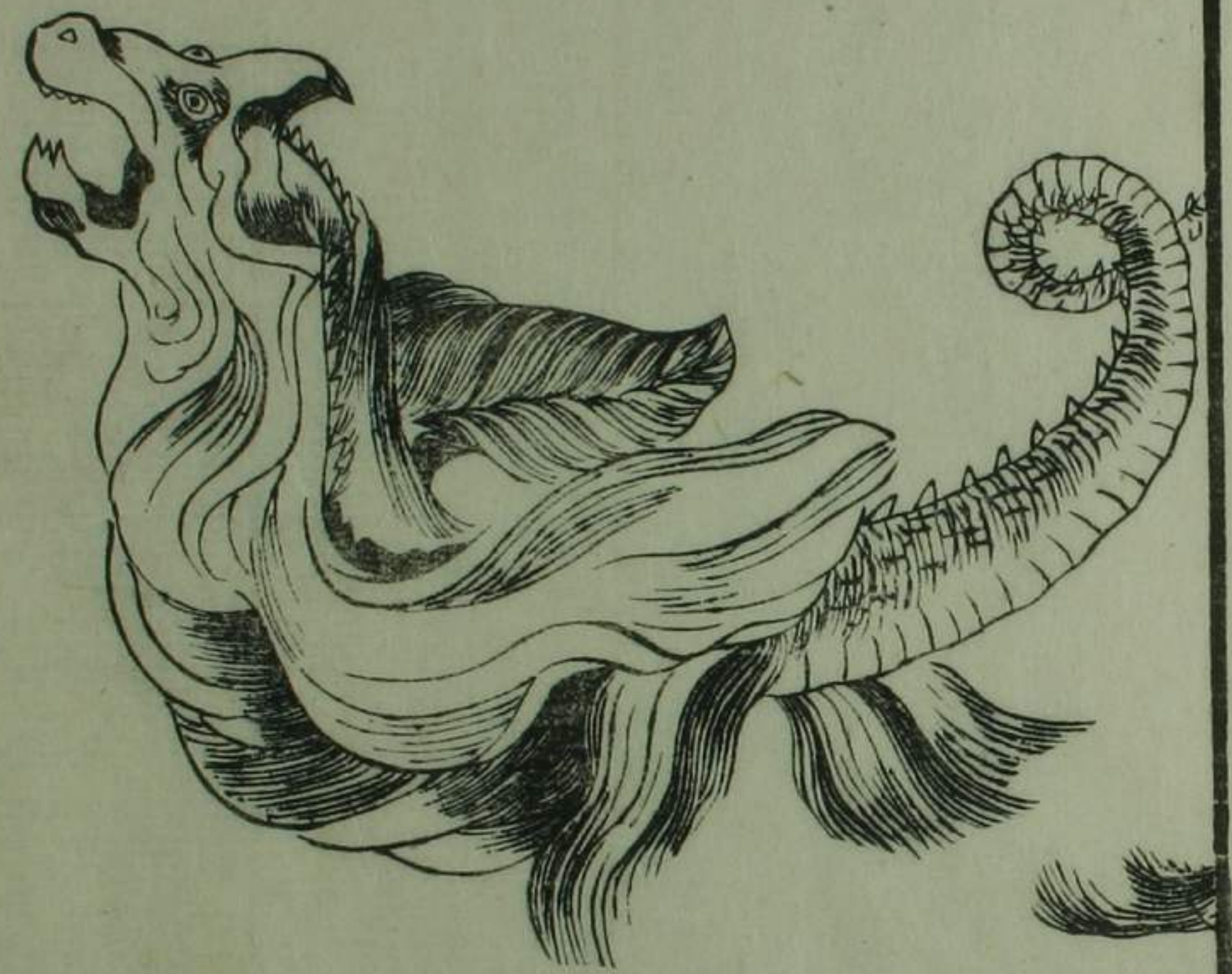
○葛辣比

○麻勒葛

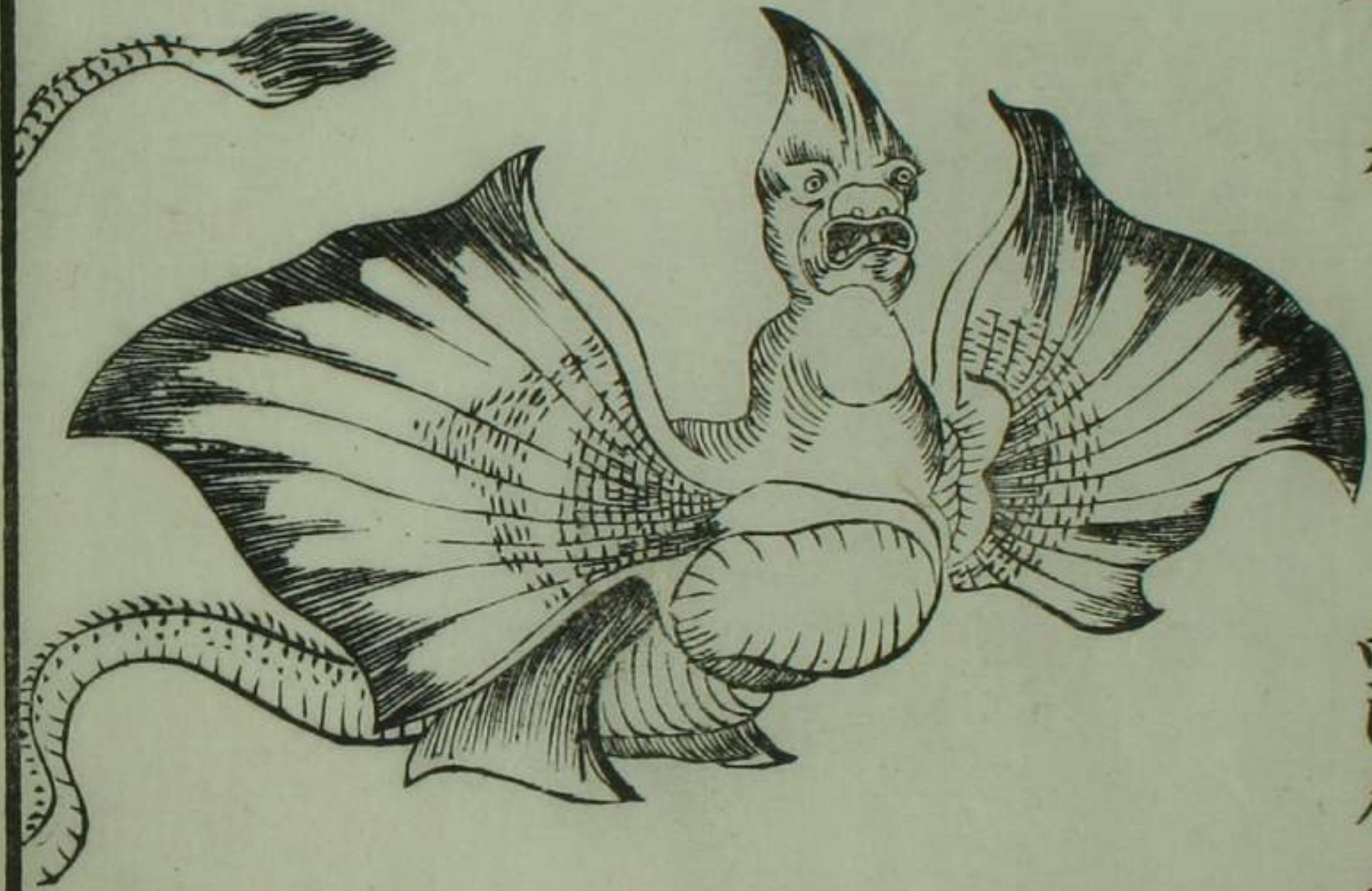
○那波里

○惹奴襪

此地一種乃教あり教主ハ娶らる専ら教化をつとむ羅馬國より



龍ノ屬三種



西洋人所寫也



改邏巴の諸国これに宗たる

- 別蒙突 ヘ子サ
- 勿耨茶 フランドボルコ
- 肥良的亞 スニア
- 沙瑣泥亞 セルマニア
- 入尔馬泥亞 セルマニア
- 入尔馬泥亞 セルマニア
- 大努昆河江
- 突浪西尔襪尼亞
- 墨亞泥亞 ルニア
- 魯西亞 ルニア
- 沙勿牙
- 帕襪利亞 ボーヘン
- 波亦米亞
- 噢失突利亞 スリア
- 瑣利亞 スリア
- 翁阿利亞 ランカリヤ
- 波羅泥亞 ホロニヤ
- 莫大未亞 モルタヒヤ
- 卧尔丁然 カルチン子

入尔馬泥亞の諸国一王の命をすぶるる世及非七国王子の中賢なるを推して總王となし又此海は琥珀を産す石上の生きたる乳の如し然る多く海濱あり金色なるものを上とし藍色を次とし赤色最下品なり

- 字漏生 ベレウセン
- 契利未牙 キリニガ
- 兀失丁入 クハム
- 縛羅得没
- 葛尔曷波利 ホツラン海
- 波的海 ホツラン海
- 卧的亞 コシア
- 蘇亦齊 スエシア
- 沸你刪突 フルカン
- 葛勒施葛
- 矮人国
- 波多里亞 ホトウリア
- 古馬泥 コムニ
- 各勒利亞 コトウリア
- 謀勿瓦的亞 レタニア
- 礼勿泥亞 ラスタ海
- 窩所德海 ラスタ海
- 蠟皮亞 ラヒヤ
- 蘇亦齊界 スエウイッヤ
- 伯尔昨客海
- 諾尔京 ノルキン

国人男女たけ尺余と志て五歳子を産し八歳より老る常と鶴乃たれと故に其人穴に住て是を毎半年夏三月いで鶴乃卵をたねて是をやめ羊を用て騎と

矮人國



○波の亜 ハテア

○祈勿刺

○露的刺斯 ルツチラス

○私祀法 スシギバ

自七十
至九十

○伐底曷尔

○下墨地阿皮亞

○馬加大作 マカタス

○訝德兒 ハンテール

○沙哥多刺島 サカトラ

○黑地瓦皮亞 エキヲヒア

○大非力 タヒラ

○巴皮羅泥亞 ハヒロニア

此国七百州あり其尤大なるは末羅那と云ふ此国乃城世界才一の

○非尔馬勒祈亞 ヒルミンキア

○莫西那

○勿耳瓦

○新曾白曠 ノラバセンフラ

○清入

○党各哩 カカリ

○多亞刺

○瓦兒大付峯 カルダウス

○萬島 マルデアヒス

○西紅海 マールブルム

○伯六

○薩係得

大城なり四行程十日又大江有り世界第一なり海に流し入る處七
所あり其江年毎に必ず溢るなりす此水を以てやぶな
ひ土地甚に肥澤なりて田を糞せり如く國人五穀を種
まを以て百を収む黒檀寶石を産け又此国一年中雨ふは
事なく雲り出るまもふ故に國人天文を委しすて
他国より富饒の国と称す

- 黒入多 メギト
- 児葛諦夫
- 虎人雜野
- 赫曷株 メテノウ
- 默德那 アレン
- 亞登国 ハルタツ
- 法勒達 ルウミ
- 嚕密
- 曷入曷野 ソコリア
- 柁諾野 アラヒヤ
- 耶惹曷尸
- 揭尔名
- 墨加
- 妻畢 シイベツ
- 曷禡西利非丁
- 赫力

○五伯麻尹

○曷刺比亞 カウヒア

乳香此地に産す樹ハ甚々小なり他所よりちちり又一藥を産
す巴尔刺といふ尸を塗てくちずす

○馬伐

○點生丁海 マスパラット

忽魯謨斯乃地草木を生せり牛羊駝馬を海の乾魚を食
す山々五色をつね皆塩なり國人これをとりて器を製す故に食
物塩を加ふるなるは珍珠寶石龍涎香を産す

- 刺諾斯 カンテイル
- 古亞思且 ケルマン
- 赤蠟蓋亞 カラサニ
- 惹西廝突 テリアイリ
- 入蘭 セラシ
- 加私
- 瓦得尔
- 溪尔曼
- 哥蠟作泥
- 得力利大伯里私且

曷刺比海 カウヒア海

○亞衣漫 アヤマン

○忽魯謨斯 オツルムス



駝馬



○色釋利

○亞的伯讓 アヘシヤ

○波斯

○沙勿私 スモラス

○巴尔齊亞 ハルシヤ

此地五色乃玉石金剛石鷓青石を産す

○路勒私且 ロスチ

○帝曷兒伯

○曷西廉牙

○亞利士利 アリトリ

○耶辣覽

○西入爾儋

○改法蠟得河

○西利牙 スリア

○死海

○噶尔突牙

此海一と云々産すは事なき故に死海と名づく然るも水性つぬに浮ぶ故に人溺と云々沈まぬ

○如德亞 シユテア

○曷捺多勒

如德亞乃地也一異人此処に降生し故に人々を聖土と云ふ

○止波里 チイベン

○阿禡西亞

○加臘馬爾 カラマヤ

○蘇襪斯

○波里六泥 ハロウニ

○撥壤

○波涅

○亞馬西亞 カサリア

○入釋 ニレハ

○瓦茶里亞 メカテール湖

○亞尔默泥亞 アヤチ

○墨何的湖 マルモウ海

○女人国 アマガ子

○大海

此国わり男子も何りさかしく多く男を生ハ殺して育せぬ後男子乃たれり何れをせらぬ今た其名のこを存せり

○熱阿爾入阿那 子カリスヤナ

○葛尔木蘭 カルタラン

○陀拔斯革 タハスチ

○北高海 マールテサラ

此水甚く浩蕩志々大海と通せぬをて海といふ湖といふのこ

ささし其水鹹一故に志々海といふ

○葛尔莫哥 カルモキ

○亞松大蠟甘 アスタラカン

○一目国

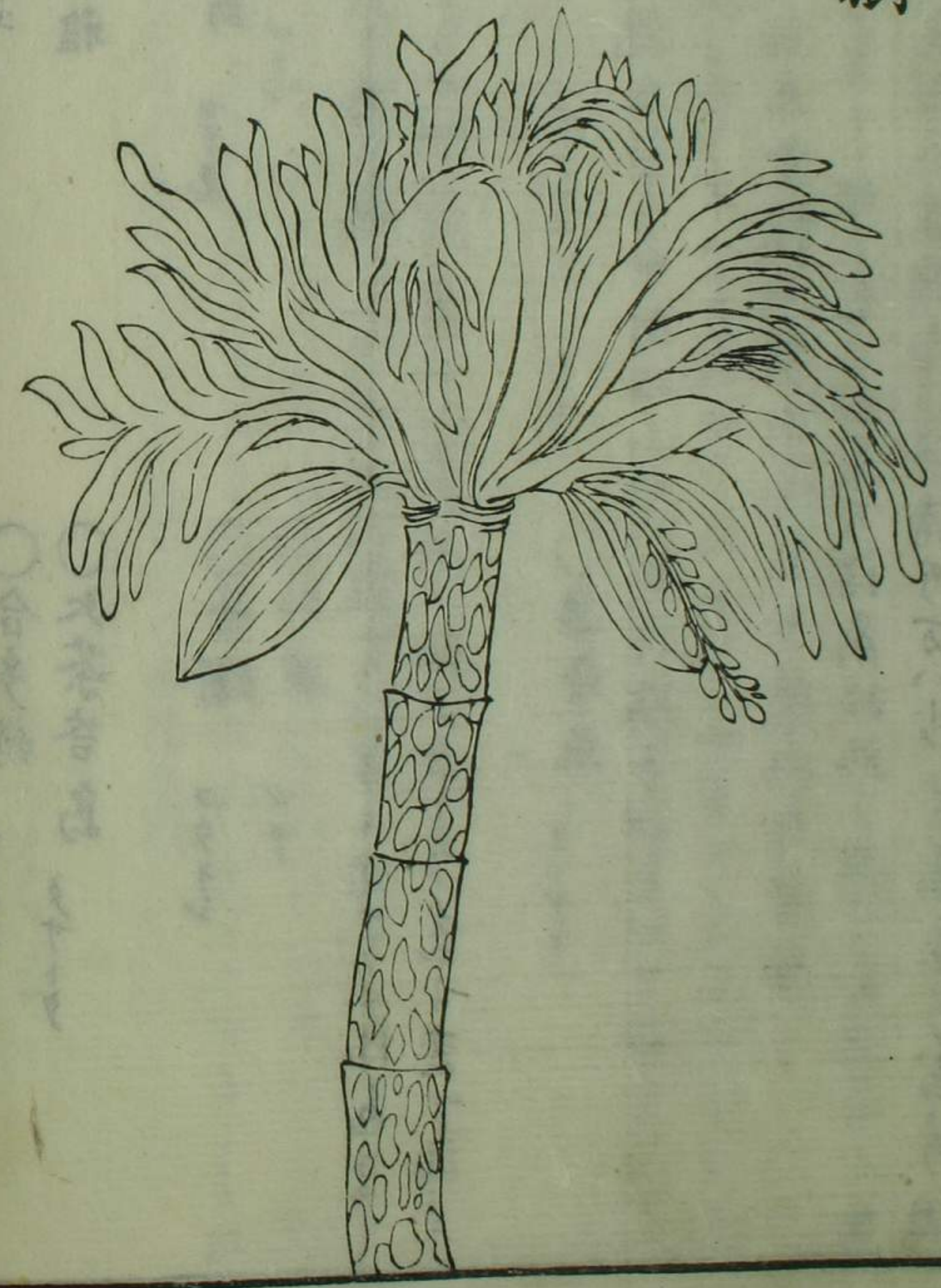
○額索各答耶

○弥色曷尔迷

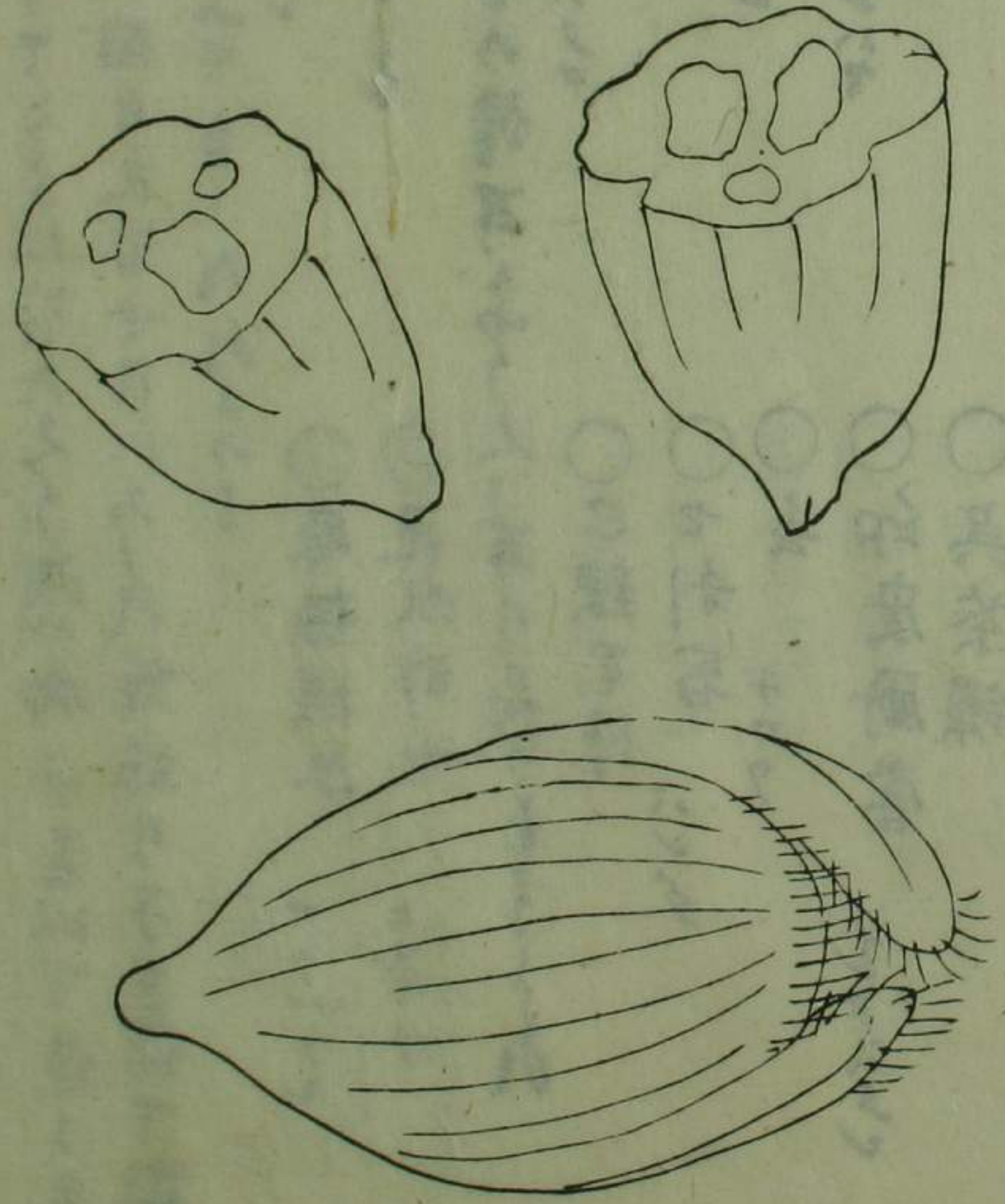
○孟日力里亞 シントリア

圖說

椰樹



同果實



圖說

紙を木の葉を取書をして其筆とす物々鉄錐を用也国
王及其各所よりてこは皆たより酒ハ椰子を以て造る五穀の
内米の多し諸国の王皆世及にあり姉妹の子を以て嗣とす
其親子祿をたすめて自らたぬるの事

- 那心瓦国 ナハタン
- 巴羅襪斯 カラハタン
- 巴羅襪斯即ち古の儋耳より人々其の長きをうしめ
- 阿利沙彈 キハタン
- 伊達尔幹 チャル
- 利兀尔 チャル
- 坎巴夷替 カンハヤ
- 西天竺国 インド河
- 身毒河 インド河
- 葛步尔 モウル
- 麻辣襪尔 マラバアル
- 毘私那亚 ヒスナア
- 巴辣瓦得 バンダ
- セ利客 ギワラ
- 印度厨當 インドスタン
- 吳茶蠟
- 梧作刺得 クサララ
- 莫卧尔 モウル

- 敖羅
- 伊西帝宜入
- 鐵門関
- 日臘大私
- 唱盤陀
- 懸度山
- 何里沙 アラカン
- 亞蟬散 アラカン
- 加湖
- 詔納僕兒
- 小天竺
- 朶甘思
- 曲先
- 赤行
- 甘木喝
- 觀貨羅
- 回回 フイミ
- 闊悉多 クワツレタ
- 高葛婆山
- 葛刺尔
- 孟道
- 榜葛刺 ベンガラ
- 榜葛刺海 古の竹都列即東印度
なり
- 安義河 受三十水産金沙
- 加尔且且 カルゲン
- 伐刺孛
- 阿端
- 瓜

○于闐

于闐東磧石又東流沙之人行跡多一故之往來乃人皆迷小
了之者死之者多一其骸骨在焉之者一往來之道
水之流之者多一其骸骨在焉之者一往來之道
大蔥嶺

○苦峪

大流沙

○地布蟬

○朱俱波

○大革里思且

○耶塞核

○打喇巴

○何加入

○貌力南客尔

○沒善士

○陽関

蒲昌海

○哈密

○沙州

○火州

○古伊州

漢東師地唐之支河

○土魯番

○葉尔耕

○察瓦秦

○焉耆

サツガタイ

○杜没那

勿尔瓦河 昂亦得

○大厥耕諦

○亞力山的

素葉河

○白管

○亦力把力

○撒馬兒罕

サマルカ

亦力把力古の丘茲國をり元嘗て諸王を此地に方建は

○漠泥彼

陰山

○天方

○鐵勒

○土兒客私堂

○貌力那亦兒

トルクスタン

○大壙野

○哥兒墨

此国死者を埋つて其尸を林にかくす事
○是の亞意貌内

○牛蹄突厥

此国の人身八人して是ハ牛をり執鹿向して大河あり夏秋ハ冰
り厚し二尺春冬ハ冰底に徹し常に火をたき氷を消て飲す
事を得るなり

○黒車子

音貌山 イバウ

此山極了高くこゝに登る者星を望み大なるをいほ

○轄夏

○是の亞意貌外

此国乃た... 父母を以て双親の苦勞を... 父母を己の腹子葬て山野にすつる忍びの事なり

○忌塔意西葛

○路骨漢路耶

○満尔枝

○曷刺国

○宛在連

○其尔目西国

○鬼国

此地の人夜ハ出て遊ヒ昼々かく鹿皮を以て衣と爲す耳目鼻ハ人ト同一ナリ口頂の上より鹿を食ひ蛇を食ふ

至一百四十

○大泥俺

○大真

○把珥

○滿刺加 マラツカ
古哥羅富沙

滿刺加の地飛龍ありて樹より長サ四五尺を過す国人常々是を射

○葉兒 シヨボル

○大泥

大泥坑所極了大なる鳥を産す巨蟻と名く翅ハ人にも飛ぶ事有たを其足馬の如く也く事甚く速なり馬に及ぶ事有る羽盛纒と名く厚大なり盆まつる事一宇露国尤多し

○彭亨 ベンテ

○馬大邦

○三佛齊

即古干陀利今為舊港宜慰司

舊港地にて諸蕃の會をもちて高船輻湊一富饒の所なり其民海より住居し竹を以て之屋を蓋ひ其上をさかす椰子葉を以て若し外に移るる時其をさかす持て土地至て汝をり又尼白樹ありて酒を造る椰子酒を本と爲近国占城大泥なる此木をあり

○丙東

○峇那思里 タンシリ

○盤盤

○馬兒大莽 マルクハン

○木邦

○緬甸 メンテン

○蒲甘 カンホナヤ

○布大跋羅 子ヤンハヤ

○蘭白道

○萬里長沙 パウーセン

○波爾匿何 ホルチウ 即ち濤泥國なり此地冬熱甚しく常ニ風雨

多し又城々ハ木柵ニ其甲とす物ハ銅を鑄了筒

なり身ニ着了夏たり又一ツ乃葉木あり葉膏と名け身ニ塗る

俗佛法を信用す

○巴那馬 テゴセ

○直臘

○道明

○琶牛 ペグワ

○披支布里 ヌスハイ

○占城 チヤン 即古林邑

○暹羅 シヤム 古赤土國又名婆羅刹

○甘波牙

○ ブルコンドゥル

暹羅人



○茗茶關 ミンチヤナラ

○食カ百私 セレーハス

馬踏古地方五穀たゆりて沙姑米樹りて其皮を粉とちりて米よかゆ

○角島

○馬大音 メタナウ

○呂宋 ロソソ

○小琉球

○柱島 レイシ

○黎母 又金島カレシナ
チンナントウ

○雲南 ユナン

○崑崙

○貴州 クイキウ

○廣東 カントン

○色カ皮

○馬踏古地方 モリユッケン

○亞来沙

○瑪泥児訝 マニルカ

○卧山島

○大琉球

○東寧 トウ子井

○瓊州 ハイナム

○安南 舊交趾

○星宿海 スウセン

○四川 カンスイ

○廣西 衛山

清人



洞庭

○福建

ホーケン

○南畿

○湖廣

ウークワン

○陝西

センレー

嵩山

恒山

○山東

サントング

○宣府

大明海

○多藝

○伊岐

○朝鮮

古新羅

慶尚道

古百濟

古扶餘

忠清道

全羅道

○江西

キヤンレー

○浙江

セツキヤン

○河南

ホーナン

三峽

華山

○山西

サンレー

○北畿

泰山

○京師

○五島

○對馬

○濟州

平城

黄海道

京畿道

江源道

古耽羅

朝鮮人



朝鮮ハすもろち箕子封せしむ地なり漢唐より中国乃郡邑なり
今朝貢をせし属国乃首あり古へ三韓といはれり、穢貊、渤海、悉
直、駕洛、扶餘、新羅、百濟、耽羅、等乃国今もその地を朝鮮
といふ

- 遼東 レヲトシグ
- 合蘭
- 黃龍府
- 女直
- 秦寧
- 臨潢
- 西楼
- 孕顔
- 應昌
- 榆木川
- 開元
- 東楼
- 五国城
- 長白山
- 福餘
- 北楼
- 慶州
- 大寧
- 連雲磧
- 開平

- 威寧
- 興和
- 豊 一作豊車勝
- 雲内
- 河套
- 蒼松峽
- 九十九泉
- 東勝
- 銀宥等州
- 賀蘭

- 寧夏
- 青海
- 甘肅
- 沙漠
- 和寧
- 花渡
- 幹難河
- 土刺河
- 鄯
- 罕東
- 西涼
- 瓦蟬
- 哈刺森河
- 濶百
- 殺胡鎮
- 撒里怯兒

○咸虜鎮

飲馬河

○清虜鎮

○遠安鎮

○鞑靼

タルタリヤ

地方甚々廣し東海より西海に至るまで種類一

なる大抵非を習ひて盗を業とする城郭なく定りたる居住もな

し房屋を車の上のせ勝手より居を移すなり

○阿只里

○盲河利牙

○乞里吉里

賀喜河

○姬厥律

兒水

此地寒氣甚し水は大魚を出す貂鼠多し黑白黄乃三色なり
国人最勇なり

○地豆干

○唐吳

○鞑鞞

マカ

○測兒吳

西金山

○襪結子

其人髪をたき獸乃皮を衣とし馬に乗る鞑鞞善くなり

蝦夷地方所産鼯

黄質黒斑ナリ彼方コレヲ
「ムントモエリ」ト云



人ニ過ハスリキ 殺シテ人肉を生クニ食スル其國乃三百八室
韋ナリ又土地湿気多く霧気強一寒國ナリその中ニ人
勇を尚テ盗をなさスルニシテ

○室韋 シツキ

○支何児密

○大室韋
羅山

○烏洛侯

自一百五十
至一百七十

○強盜島

ラトロニス

世曰刺答蘭

○茶馬児島

此地ノ人々ニ裸体ニ衣をキテ事ヲ為ス

○無人島

小島八十餘

○雙柱島

○柱島

○野島

○金嶋

小東洋

○日本

ヤパン

日本海

ベンジユンモリーヤウ

○野作

エゾ

○松前

野作人



シヤシヨタン

○山丹 サシタン

山丹乃地名ハ多く満州の言ニ似たりと云々又此辺ニ黒龍江と云々あり

○唐太

カラフト

○東察加

カキヤカ

奥蝦夷人



一 アムル河又サカリイン河と云々

○奴児干

○満州

マンギラ

東金山

○黄頭室韋

○黒入瓦牙

○北室韋

此地雪多一人木ヲ騎テ何リノ坑ニ陥ルベキモノ貂ヲ捕ル事
ヲ業トシ奥皮ヲ衣ル事トシテ

包得河

○獣室韋

シウシツチ

胡布山

○白兎吳

○羅荒野

○門卧尔

○登都因

○鉢室韋

○深末祖室韋

○區度寐

其人皆高く衣短し畜獸多し豚の多し有る別畜あり其人
身極て軽く一跳る一丈と云々能水ヲ浮む水ヲ渡る腰を切て
走る事陸を行ふことありと云々

極北幅

自一百八十
至二百三十

○珊瑚樹島

○亞馬是里

孟多齊峯

○都茶那

トサナ

○亞泥俺國

アニア

○平地坡

冰海

エイヌ海

○流鬼

○夜人國

北海

ノラド海

此処寒氣つよく凍甚し海水も氷て人の車馬も往來す又
氷をうらり穴をほりて大魚をとり故に地は五穀を生ず事なし
皆魚肉を食し魚油を燈とし魚骨をて家居及び舟車を
造る

夜國人



自二百四十
至二百九十

○別山

○得光得白

デジン

○里漠

リハク

○亞奴皮亞大

アヌピアタ

○鱒古那

ラクウナ

○詣柯

圖說

自二百四十

至二百九十

瓦的馬革 ニカラソアワ

大哇識介

哇的麻刺 ウワテマラ

古教沙 クスウサ

墨是可。此地乃鳥羽他国之比す。甚見事あり人々輯て画成す。山水人物妙に至る物あり

新以西把你亞 ノオバイスバヤ

亞如的私的 アジユテステ

新瓦利茶 ノオバカラナータ

多皮蠟 トヒイラ

知加土蠟

十字山尾

角利弗尔海

矇山

鄧度蠟 ホニテイラス

宇革堂 ルカタン

馬金色 マキンシ

墨是可 メキシコ

新以西把你海

多勿国

墨珠亞甘 メコアカン

固列

沙里思可国

角利弗尔其 カリホルミヤ

東江海 マレ(ル)ミチヨリム

亦安濃峯

第克属 チンテ

第瓦施

亞沙河 アサ

多尔德亞河

突尔利其祈默奇国 トルリキキイメキ

火吐蠟瓦 ホタラカ

七城国

革哥私 カユウス

大入尔国 ダゼール

亞勿加尔国 アバカル

袞仙河

得尔勿羅洛 フロリタ 譯云花地 セラコタ 農地より此地に至る總名を甘那

托兒と其国各本名あり此地より人極て醇善なるを他国より人

此国に至るハ甚厚く待す大約皮をもた装とあり一漢をさす

止會 チフイ

支古訝 チクウカ

多尔德亞国 トダアデヤ

媽利大

亞私大達蘭 アスタチラン

加巴斯祈国 カハスキ

沙蠟丁諸

林濱

哥妙国

亞伯尔耕国 アハカン

訝巴刺亦尔

業と云此国乃山内之一種り属あり常々相殺一戰奪り以人
た、蛇蟻蜘蛛を食とる

○摩可沙国 モコサ

○加那瓦

○祁臘 キイラ

○亞哈庫 アホタク

○祖瓦蠟 フカラ

哥入河

○沙瓦乃国 サカナイ

○多兒美

何皮六河

○沙兒倍 サルベイ

○私樹林

○白吳尔 ペコウル

○加拿大国 カナタ

○何察刺瓦 カサルガ

帝靜河

蘇亞蠟山 スロラ山

○亞外媽 アハイマ

哥泥自期湖

○多兒瓦瓦 タルガ

○諸著 チイナ

○湮沙 アヤ

○多龍 タロン

○雪山

自三百
至三百五十

○加利巴那祁多 カリハチキート

○祁臘正瓦斯

○荅尼憲 タマイレン

○新曉大魯西亞 オバアンダレンヤ

鳥水河

○漢人地

○容皮

○對島

○小以西把你亞 イスパニョウル

○牙賣加 ヤマイカ

○曷弥亞那 マジヤガナ

○哇那罕 アサカン

○止瓦投 テサカ

○坡巴牙那 ホ、ヤナ

○金加西蠟 ゴウトカステリヤ

○小勿耨茶 ベ子ゲヨウラス

○亞那牙 アナシヤ

○渴里白那 カリポナ

○富令那国 フリンナ

○青珠島

○仙如漢島 サニシユ

○曷勿洗勿 イスカワ

○古巴島 クバ

○瑪牙瓦那 カテサマ

○瓦尼瑪

○跋格禺 ロユウタ

- 白赫瑪
 - 勒革瓦国
 - 狗河
 - 身三起島
 - 怕霧打嶋
 - 如里漢島
 - 巴革老地
 - 香峯
 - 卧蘭的亞
 - 斯可何尔丁
 - 亦利多的蘭地
 - 可尔得勒亞尔地
 - 新拂郎察
 - 何多亞蠟瓦
 - 革利国
 - 諾龍伯尔瓦
 - 色氏測島
 - 鶴島
 - 鬼島
 - 飛私得島
 - 泥德
 - 寒河
 - 點羅沱海
 - 奴龍伯
 - 翁危答
 - 得尔洛勿洛多
- テイラノウバ
バガウウデ
ゴラシテア
スコラルテン
イリタテラシデ
コレレアシス
ノオバフランサ
ホタアラガ
ホルトマテ
ノロシ
カラシテバシダ
イラセンラホル
- 自三百六十
至三十
- テラアラロラト
譯云耕農地

極南一幅

自三百六十
至三十

○仙衣力拿島 レイナ

此海中に魚あり能飛たれ高く擧る事能く水面を平ら過ぎ
も遠き事百餘丈に及ぶと白角児と云ふ魚あり能く此魚を食
ふ此魚水中を行く事飛魚より甚と速なり善く飛魚の如
くを窺ふ故に飛魚甚と白角児を畏了遠くの所然るも白角児
は飛魚の如く見えて其向ふ所を先へ至り口を開て待飛魚
を喰ふ海濱に人白き練布を以て餌となし水面を引動し
たりて飛魚の如く見せし白角児を捕ふ實に百發百中あり
是を烹る其味甚と美なり

○亞弗利加海 アフリカ海

自四十
至六十

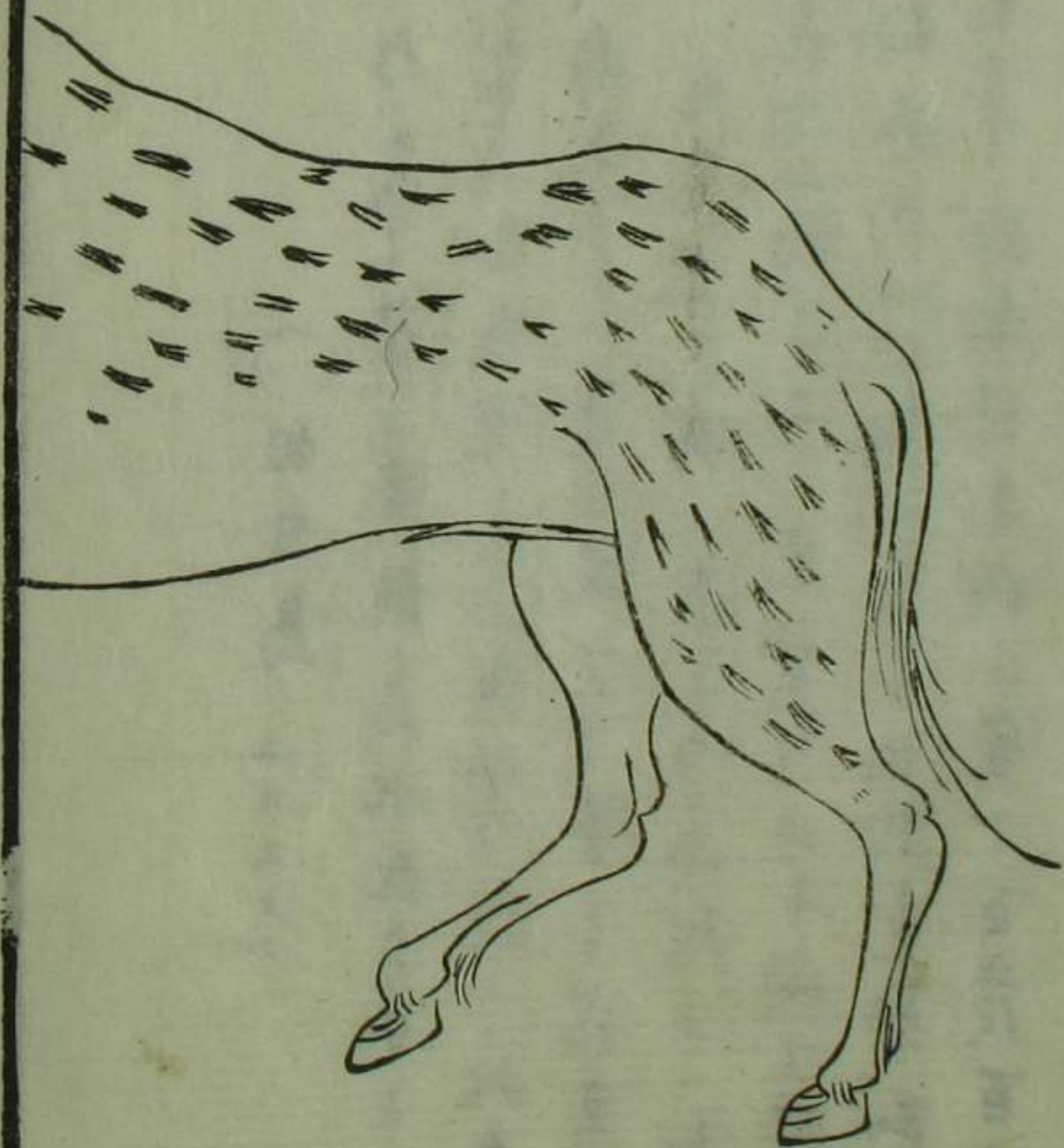
○馬泥工哥 マニコガ

○漢卧刺 アンコラ

自三百六十
至三十



疑麟



○兀兒曷 ウルカ

○大麻速突

齊歷湖 サイレ湖

泥羅河泉 ニイル

○孰亞

○于只入門

○點令德 メレンテ

○門沙皮剌 マサンビキ

○布都曷

○曷娑撥刺 カサンバ

○卧訝墨 カメアマ

○馬拿莫大巴 モノモダハ

あり皮極て厚きとのろろ物身の鱗あり其足と尾も牛乃如し是

○大拇 ダムツ

○岸辨叔旺

○革法得 カバラス

○磕辣 クワレ

風入湖

○契陸

○門巴察 モンバアサ

○黑人国 ニキリツシヤ

○雜非浪 サシテ

○氏露

○古西媽

○禡大吐齊

此地獸あり首ハ馬に似て額乃上る角

麟といふ

○假佛尔 カフリ

○仙勞冷祖濱 センシ

○亞尔加 アルカ

○把曷末多羅 サンギバル

○替西拔尔 ヘウイン

○伯那人 ゴバウ

○初法臘

○仙路寫

○未惹荅

嬰方德河

大浪山

○諸波羅

黑峯

長山 マインベルダ

月山

仙多默峯

○只伐 スラハ

金河

○步都牙

○伯路卧 ヘコ

○創齊巴尔

大浪山角

此処四季とる風をきく波かたり往來の商船或ハ通る事能く船を破損すこと及ぶ事西洋乃中より多く此処たあり故らつらる

赤道直下ノ諸方
熱國人物略類此



く通りぬけしるる大る喜ふ事あり又鱈魚を出せり其魚大さ船
りこししし

羅經正峯

○美湾

○鸚鵡地

鸚鵡地と望しるるいふ船を其処につけす

自七十
至一百二十

ベアバ

カマロ

檀香樹嶺

○曷以布刺

カハフラ

シヤカ

アホルリヨス

モウクシ

○古美沙
リミサ

○那大児
ナタル

佛郎茂商會さき船を乗り此海を通りし

サンジハル

○未尔曷六刺

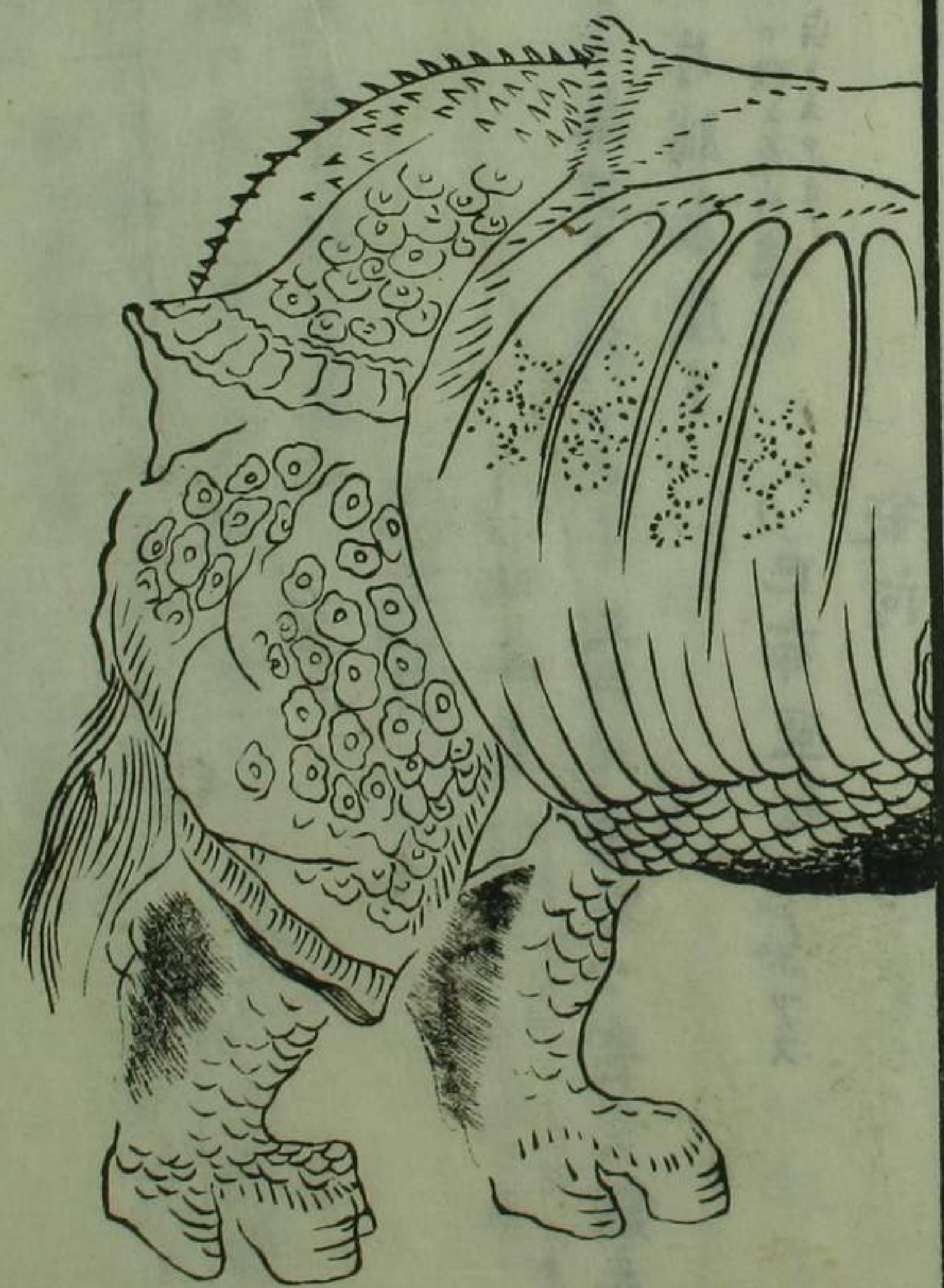
○仙勞冷祖島
サンロレン
一名麻打曷失葛

マスカレイニアス

フルウコ

アホウリヨス

○路客国



○蓋
○外
○最
○高
○者
○也
○其
○性
○不
○食
○肉
○不
○飲
○酒
○不
○淫
○不
○亂
○不
○淫
○不
○亂
○不
○淫
○不
○亂

犀



○蓋
○外
○最
○高
○者
○也
○其
○性
○不
○食
○肉
○不
○飲
○酒
○不
○淫
○不
○亂
○不
○淫
○不
○亂
○不
○淫
○不
○亂

自一百二十
至一百七十

自一十
至九十

○蘇門答刺 ノモダラ

○野野

○雅能牙 アヒア

○大瓜哇 ジャワ 唐曰訶陵宋曰蘭婆

瓜哇元の代より其王を擒りて伐ちて之てより今も通路たるは又諸

国より商船往來極多し甚く富饒の地なり金銀珠寶瑪瑙

瑤犀角象牙木香の類を産す

○止男巴洛

○巴亞巴 ハアハ

此地島々甚多し船甚く行ふも又此地檀香丁香金銀香安

息香蘇木胡椒片腦を産す

○梭羅島 ソロレス。此は近キ島ニ
カノンヤヒト云アリ

○蓋南 セイラ

○元弥突勒

○板淡 バンタン

○把弩路曷

○皮馬 セイマ

○地木島 テイモル。此は近キ島ニ
コランニツアイラニ止ト云アリ

○巴布亞私 パポラス

瓶河

仙歐吳私丁河

此地乃名を新入匿と名くは事ハ利未亞洲乃内入匿の地勢大

る同しき故に此名なり歐邏巴乃人近し此地に至るとし

たりし事ハ志すべし或ハ一序に連る地とす或ハ一の島

ちりしり

○新入匿 ノオバグイ子ヤ

○白人島

美峯

○下地

○婆麻刺

○小瓜哇

○番蘇尔 ハンツル

南海 ラビヤニヌスエテヨビワリス

○瑪力肚 メリト

○加利麻那

○圓島

○新忽尔蘭埜亞 ノオバホルラニテヤ

○覽比 ランヒ

○把西臺 ハスハン

○弗尔色 ホルセ

○伯且 ハトン

○伯亞祁

自一百二十 至一百七十

南極幅

自一百八十
至二百三十

○亞馬止法

アマチイハ

○仙尼若老

サンシクラ

○沙蠟門島

サフモン

○行香島

○沙魚島

○無福島

自二百四十
至二百九十

○無名島

○加蟻巴可

カラバゴ

○椰子島

○沙島

○火地

○加里私

師拳

○小島濱

寧海

墨瓦蟻泥海

南北亞墨利加并墨瓦蟻泥加わりの人の此処にある事を志

自一百八十
至二百三十

自九十
至九十

○意紗勿尔

イサモン

○水島

仙改極丁拳

廿五

らさるゝ惟百年をくり以前政羅巴乃人船に乗て其海邊の地
方を幸りややく知事り然る其地廣瀾りて人礼義ある事を
し今其委さき事を志す事あり

自三百
至三百二十

○打勒那

コラバス

○巴吳亞那

ハダアナ

○角蟻巴沙

ラマクツ

○盤我

トハニガ

○馬亞柯

サルカス

○止巴泥瓦

グワマア

○察尔加私

イスチアタ

○皮諾利那

○茅私那大

タルナ

○渴察革馬

○題別里

タルナ

○億大盤窪

○霸刺那

テザナ

○哥吐麻

麻刺加岳湖

テザナ

○亞馬鑽国

アマサン

○氏薩那国

パール

○亞露海

圖説

自二百四十
至二百九十

廿六

此土地耕一くえる事を志すは自然の木の實をちりめたり物多
 し人々是を食して食の香を産しバル婆麻なり此樹上
 油を生け刀を以て是をさけを油を出し其油を尸るぬる
 其油其樹く処十二時をふを昂ち故りくく如徳亞国
 亦ありく地雨ふる事をし自ら湿気ありて草木茂盛
 菓物等他の地より比する数倍あり

- 亞牙勿里
- 馬加利 マカリ
- 北度西山
- 意里加 イリカ
- 故私奇国 シスコ
- 止加 チイカ
- 如路馬大 シヨロマタ
- 其其山巴 キサンハ

- 利禰 リイス
- 乾樵国 コンチヨ
- 銀山
- 如盧麻達
- 肇加国 テウカ
- 白氏河
- 瑪八作 マハツ
- 沙濱

○ 加麻邏私 カモロス

- 三角 サシカ
- 喃末近曷長
- 大刺巴箇 ギリ
- 智里 ハカゴラス
- 巴羅謎哪 ラクウトス
- 徑徳力 セウマカデ
- 魚衣澳
- 萬室女
- 金特突 キント
- 仙加里亞諾
- 墨瓦蟻泥峽
- 白峯

若峯

- 加默真瓦泥 カメシンカニ
- 巴大温 ハタウン
- 亞彼那加 マンチヨ
- 亞大駕 アタカアマ
- 巴可
- 卑沙家 ヒスカ
- 何刺佛江 ヒトリヤ
- 毘突利耶 キレエ
- 祁勒国
- 仙瑪利亞峯
- 弟一角
- 仙色巴私
- 其三嶺

大江

自三百三十
至三百五十

○巴利孤打 コランホラ

此河一名阿勒意河と云ふ遠き事三万里と云ふ傳ふいふ其源を志
了夏ちよー

馬良温河 マランヒキ

自一十
至九十

○何勒利西那河 アロラス

○多巴欲

○白峯 ムラアス

○金魚湖

○椰林峯 イル

○毘麻刺 ヒモウラ

○伯西兒 ブラシリ

○阿瑪加那 アマカナ

此は蕨木国といふ此処の人家居をー地を
ほり穴を作て居る好て人肉を食ふ但男を食て女を食す鳥
乃毛をとりて衣を織る又此国の人寐る時床褥をー但繩を
結て網を造り中く居るゆち高くた右るくゝるを打て是を
うけ其中よふすちやく時を是をとりてのり物と云ふ又此地を

何り上ハ狸の如く下を猿に似たり人の足ふくろの耳うーて
版り下を皮ありて張る合すー其産をうけ子を其中よふ
とて休是せーむ又獣あり猿と名つゝ人いさ其飲食すは
もいすといふ

○巴兒難伯可 ハルンゴ

○阿林答 アリンダ

○革那非所河

○打巴研勒 ダバゼレス

○達坡那

○麻尔碍曷突 マルカウス

○馬加大突 マカメアト

○多兀彼那 タクシヤ

○我勿大葛特

○亞古齊亞

○摩勒被甕

○黑江

○巴臘牙 バラヤ

○皮可鱗 ピコララ

○半島

○都柄純旨詣

○寧瓦大

○怕齊那國

ベニイナ

伯刺那大江

銀河 ラフタ 此水極了甘美平地より流れ水退了地より布く処皆銀沙銀粒多し此河最し大なり海に入る処瀾々數百里海に入る五百里一流の銀泉と多し塩味を交する事あり

○可狼氏

コランテ

白峯

○沙那耶

スナアヤ

潮水峯

○邁哥

チセルト

○南灣

南亞墨利加今分て五部とあり一曰字露是字露河を以名し二曰金加西鱗是ハ産する処金銀り甚し多を以て名し三曰坡巴牙那是ハ大郡を以て名し四曰智里是ハ古名あり五曰伯西兒是中國よりハ蘇木あり其南に至て又巴大温地あり其人長け八尺故りこれを長人國と云ふ文字あり事多し繩を結て云ふしと云ふ

坤輿全圖說 畢

坤輿圖說跋

世之海舟之地理者或因疎方以述或以軒杆以記未足以既示坤輿之大也予出西洋人之於地理也視海如陸某里以陸所親存其地而若之因之以扁者以大通西洋學之所化其從海

外圖言
每之地理極為精詳。是以前
坤喪以大美。為下編。垣子戩。珍
藏之久矣。以者刊以公法。世重得
其說。以便覽者。其友大森。於夫
善。由枵。因中字之。以書也。
因又欲附刻。余所藏。方俗。矣
類禽獸。字亦之。困。以。度。其

字。見。系。嘉。志。為。寫。以。界
之。刻。成。請。後。遂。其。其。由。祭
畫。尾。云。

字。和。二。年。壬。戌。孟。冬

一。卷。山。人。撰



申。與。同。記。卷

每部有圖章四方雲

顧君子須認此為真



彫工

洞津

正木堂傳右衛門

京御堂町御池南
書林菱屋孫兵衛

